

歴史講座

壬申の乱1350年

一天武が目指した世界

開催日 9月23日（金・祝） 講師
時間 14:00～15:30 奈良大学
場所 弥生の里ホール 文学部文化財学科
（田原本青垣生涯学習センター）准教授 相原 嘉之 氏
受講料 500円
定員 300名（予定）



村屋神社：大海人軍へ神託を与えた壬申の乱ゆかりの古社



一般社団法人 田原本まちづくり観光振興機構
〒636-0300 磯城郡田原本町193
0744-33-4560/info@tawaramoton.com

お申込・詳細
はこちらから



2022年は「壬申の乱」から1350年 「壬申の乱」とは一体何だったのか？

西暦672年、天下を分けた古代史上最大の内乱が起きました。壬申の乱です。それから1350年目の今年、天武天皇は壬申の乱から何を見いだしたのか？そして、天武の目指した国家とは？ 今、改めて問います。



申し込み方法

①専用サイトから事前申し込み+事前支払い

■申込期限

9月16日（金）23：59

■お支払方法

- ・各種クレジットカード
- ・コンビニ・ATM 振り込み

専用
サイト



②メール・はがきでお申込み+事前/当日支払い

申込期限までに、必要事項を記入の上お申し込みください。

■申込期限

- ・メール：9月20日（火）23：59 受信分まで
- ・はがき：9月20日（火）必着

■お支払い方法

1. 観光ステーション磯城の里にて事前支払い（現金のみ）
（田原本駅東口前/9：00-17：00・火曜定休）
2. 当日支払い（現金のみ）

■申込先

- ・メール：info@tawaramoton.com 歴史講座係
- ・はがき：〒636-0300 奈良県磯城郡田原本町193
（一社）田原本まちづくり観光振興機構 歴史講座係

■必要事項

- ① お申込み人数
- ② 代表者名（漢字氏名とフリガナ）
※代表者は参加者全員の氏名・連絡先の把握をお願いします。
利用施設の求めにより名簿の提出をお願いする場合があります
- ③ 電話番号
- ④ 住所（郵便番号・番地・建物名まで正確にお願いします）
- ⑤ 何を見てお申込みいただきましたか？
 1. 当機構ホームページ
 2. チラシ
 3. SNS（フェイスブック・インスタグラム・ツイッター）
 4. 口コミ（家族・知人・友人など）
 5. その他：Webサイト・新聞・雑誌・フリーペーパーなど
（具体的に）
- ⑥ 今後、当機構からメールでお知らせをお送りしてもよろしいでしょうか？
 1. 希望する（メールアドレスをご記入ください）
 2. 希望しない

③当日申し込み+当日支払い

会場にて当日券をお求めください

※事前申し込みで満席の場合は入場をお断りする場合がございます

※キャンセルについて 主催者の都合による中止の場合を除き、受講料支払い後のキャンセルはご対応いたしかねます



受付について

マスクの着用など、感染症対策にも留意の上お越しください。
受付・開場は13：00より開始の予定です。



講師 相原 嘉之 氏

奈良大学文学部
文化財学科 准教授

専門

日本考古学（古代宮都・都城の研究）

主な発掘調査

藤原宮跡・酒船石遺跡・キトラ古墳・
高松塚古墳など、飛鳥・藤原地域の遺跡

主な著書

『古代飛鳥の都市構造』単著、
吉川弘文館2017.3
『飛鳥・藤原の宮都を語る』単著、
吉川弘文館2018.9
『蘇我三代と二つの飛鳥—近つ飛鳥と
遠つ飛鳥—』共著、新泉社2009.6
『古代庭園の思想—神仙世界への憧憬
—』分担執筆、角川選書2002.6
『ここまでわかった飛鳥・藤原京』分
担執筆、吉川弘文館2016.7
『飛鳥むかしむかし—誕生編—』
分担執筆、朝日新聞出版2016.8
『飛鳥むかしむかし—国づくり編—』
分担執筆、朝日新聞出版2016.10
『飛鳥への招待』分担執筆、
中央公論新社2021.3



参考サイト

『なら記紀万葉「壬申の乱」保存版特集』

相原先生の解説が掲載されています！

ほかにも、分かりやすく理解できる

「マンガ」や「落語」のコンテンツも

あり、お子さまにも おすすめです！



講座について

- ・客席扉の出入りは自由ですが、ホール扉を出てからの再入場は不可とさせていただきます。ご注意ください。
- ・講座は1時間30分の予定ですが、場合によっては終了時間が変更になる場合があります。
- ・講座の撮影・録音・録画は禁止とさせていただきます。ご理解のほどよろしくお願いたします。